

平成30年 10月 23日

たかつき保育園

## \*感染症情報\*

朝夕はめっきり寒くなってきました。保育園でも、体調をくずしているお子さんがいます。園では、**溶連菌感染症**にかかったお子さんがいます。  
お子さんの体調に変化が見られる場合は、専門医を受診し、ゆっくり休養をとりましょう。

原因・・・A群β溶血性連鎖球菌という細菌の感染によって起こります。

潜伏期間・・・2～5日

感染経路・・・飛沫感染、空気感染、接触感染

症状・・・39℃前後の急な発熱で始まります。扁桃部分が発赤、腫れます。  
咽頭痛、吐き気、嘔吐、頭痛、腹痛、ときに筋肉痛や関節痛が出る事もあります。首のリンパ節が腫れ、中耳炎を起こす事もあります。  
その後、発赤疹が、首や胸、手首や足首のあたりから始まり、全身に広がる事もあります。(発赤疹は出かたや程度は様々で、かゆみを伴う事もあります。)  
発症から、3～4日すると舌が赤くなり、ブツブツになります。  
(いちご舌と呼ばれ、溶連菌感染症の特徴的な症状です。)

診断・・・A群溶血性連鎖球菌迅速診断キット

綿棒で、のどの菌を採取し検査します。溶連菌かどうか数分で診断できます

合併症・・・**急性腎炎**や**リウマチ熱**を起こす可能性があります。それを防ぐためにも医師の許可が出るまで、抗生剤をしっかりと内服する必要があります。

治療・・・医師から処方された抗生剤を、しっかりと飲み切りましょう。  
飲みきらないと、再発したり合併症を起こす事があります。

登園・・・抗生剤を内服後1～2日過ぎてから医師に診てもらってからの登園。  
登園時には**保護者が記入する登園許可証が必要です。**